



日本初!! オオカミウオの繁殖に成功

浅虫水族館では・・・



2016年12月5日に巣穴の一つでオオカミウオが卵の塊を体に巻きつけ保護している様子を確認しました。今まで繁殖生態の記録やデータが無いため何日で孵化するのか?全くわからないまま見守り続けました。そして産卵から103日後に一斉に孵化しました。孵化したばかりの稚魚を回収したその数なんと2,567個体。

独特な容姿から人気の高いオオカミウオは、北の海の代表格として多くの水族館で展示されていますが、今までの繁殖例がないため謎の多い魚でした。当館では繁殖を目指して日々飼育に励んでいたところでした。

オオカミウオってどんな魚

みなさんは「チャップカムイ」って聞いたことがありますか?アイヌの言葉でオオカミウオの呼び名です。「チャップ」は魚、「カムイ」は神様、アイヌの人々は「神の魚」と呼んでいます。また、昔この魚が獲れたときは時は、ニシンが大漁だったことから「福を呼ぶ魚」とも呼ばれ大切にしてきました。オオカミウオが釣れると、敬意をこめて口に酒を含ませ海に還す習わしがあったそうです。英名は「Wolf Fish」。もともと和名が付けられていなかったため、英名からそのまま「オオカミウオ」と呼ばれるようになったそうです。

東北地方以北からオホーツク海、ベーリング海などの寒い海域の水深50～100mの岩礁域に生息しています。日中は岩穴などで顔だけ出してジッとしていることが多く夜になると行動を始めます。全長は1m以上にもなる大型のギンポの仲間です。二枚貝類、ウニ、カニなど、バリバリ食べちゃいます。上下の顎には鋭い歯があり、硬いものを砕いたり、すり潰したりして食べることができます。イカつい顔をしているため獰猛(どうもう)に見えますが、その顔つきに似合わず性格はかなり大人しいと言われています。

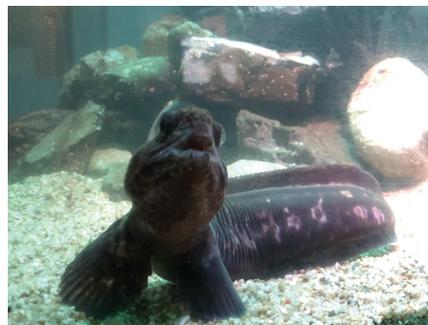


オオカミウオのほっこりする話



ひとこと絵日記
可愛い子と体は顔の
オオカミウオ。だけど卵を
産むと体を巻くついで
敵から守るやさい一面
もあるんです。

孵化するまでの間、卵の塊を体に巻きつけ敵から守り、新鮮な海水を卵にいきわたるように世話をします。



今後の成長が楽しみな赤ちゃんオオカミウオは、スクスクと元気に成長しています。大きい個体で約25cmまで成長しました。現在は1個体だけとなってしまいましたが、日本で初めて繁殖に成功したオオカミウオの赤ちゃんが見られる水族館は全国でも **ココ浅虫水族館** だけ!ぜひご覧ください。

浅虫水族館のオオカミウオ

浅虫水族館ではオオカミウオを長期にわたって飼育展示し、現在は9個体飼育しています。展示水槽の水量は約6t、飼育水温は約9℃でシソイ、ホッケ、フサギンポと仲良く暮らしています。